

微笑

車いす用電動昇降機 微笑の向日葵

取扱説明書 保証書

この度は、「車いす用電動昇降機 微笑の向日葵」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本書には本製品の取扱いならびに、注意事項について記載しています。使用者ならびに介助者の方はご使用前によくお読みの上、正しくお使い下さい。また、お読みになった後はお使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

<SK-S型>



<SK-L型>





もくじ



使用上の注意	1
各部材の名称	2
本製品について	3
製品仕様	4
使用パターンについて	5
ご使用になる前に	6~9
操作ポストスイッチ	
リモコンの操作方法	10
電池交換のしかた	11
使用方法	12~14
操作時のご注意	15
トラブルシューティング	16
日常のお手入れ	17
メモ	18
保証書	19

使用上の注意



ここでは、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたい注意事項を記載しています。ご使用前に必ず読んでいただき、理解のうえでご使用いただきますようお願い申し上げます。

 警告	この表示の内容を無視して誤った使い方をすると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して誤った使い方をすると傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

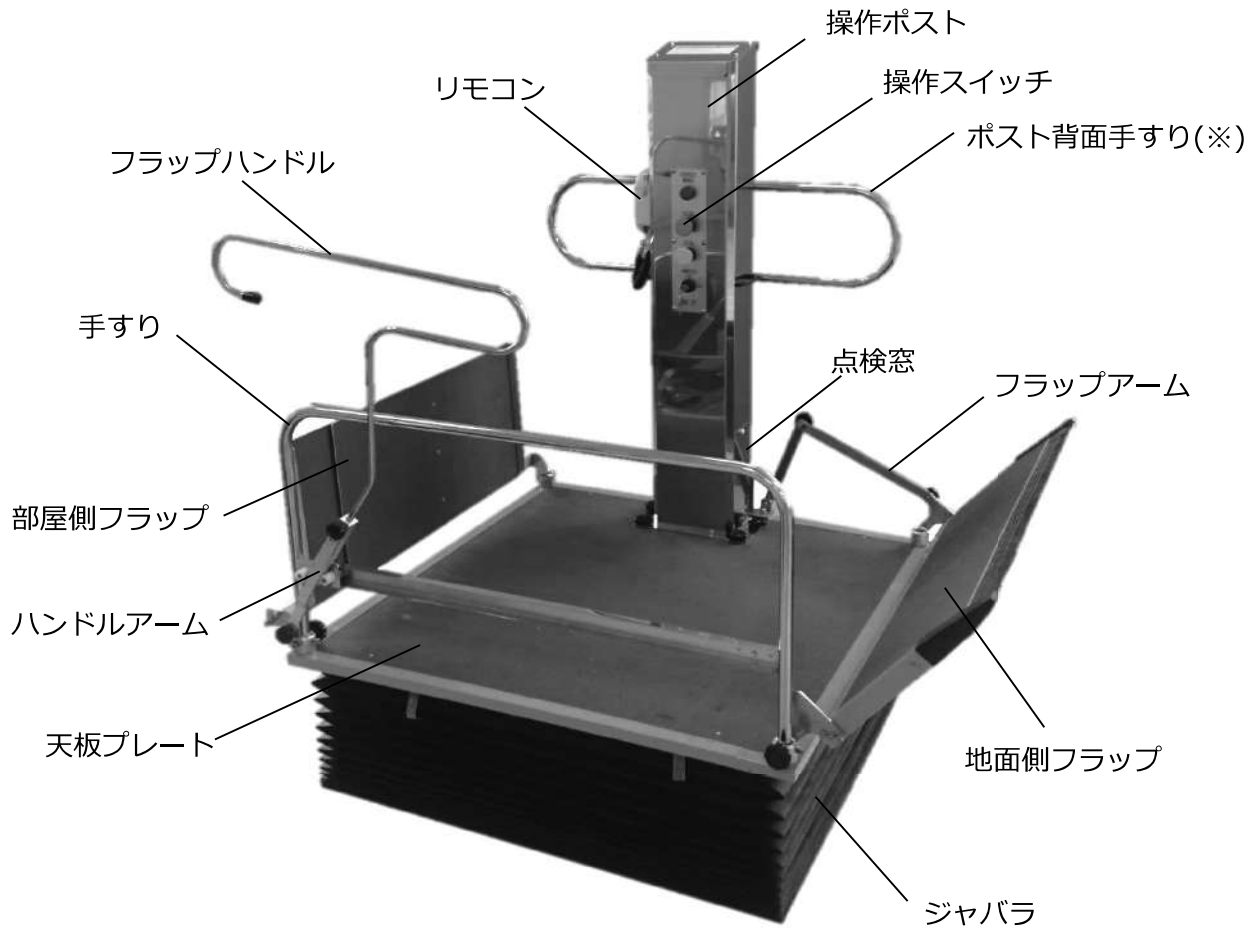
取扱上のご注意

 警告	<ul style="list-style-type: none">・段差や斜面への設置をしないでください。濡れた床面に設置しないでください。転倒や滑走の原因となります。また、アジャスターで天板プレートが水平になるように調整してください。・天板プレートが濡れた状態で使用しないでください。感電や転倒の原因となります。・リフト台の上に物を置かないでください。・製品はS K - Lのみ介護者の同乗が可能です。耐荷重はS K - Sが180kg、S K - Lが200kgです。・改造や加工、または分解をしないでください。・設置後、ねじの緩みや、ガタつき、締め忘れがないか確認してください。
 注意	<ul style="list-style-type: none">・定期的に点検を行い、ガタつきやねじの緩み、部品の破損がないことを確認してください。・製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の屋内で保管してください。

使用上のご注意

 警告	<ul style="list-style-type: none">・ご使用の際は介助者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認してください。ご使用になる方の健康状態や体調が変化した場合には、医師や介護士、ケアマネージャーなどの専門家に相談してください。ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。・予測できない行動をとる、自力で危険な状態から回避することができない方は使用しないでください。ご使用される方の心身の状態や利用環境により、本体の隙間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては重大な事故につながる恐れがあります。自力で危険な状態から回避することができない利用者の方につきましては、ご使用を控えてください。 ※重度者（特に介護度3・4・5）の方が利用する場合は、医師や介護士、ケアマネージャーなどの専門家に相談し、適切にご使用ください。
 注意	<ul style="list-style-type: none">・介助者が必要な方が使用する場合は十分ご注意ください。

各部材の名称



※写真はSK-Lです。

※ポスト背面手すりはSK-Sには付属していません。

品名	品番コード	TAISコード
車いす用電動昇降機	SK-S	01235-000146
車いす用電動昇降機	SK-L	01235-000147

本製品について

使用目的について

本製品は間口や縁側との段差を解消し、車いす利用者の方々の外出を手助けする為に使用する車いす用電動昇降機です。

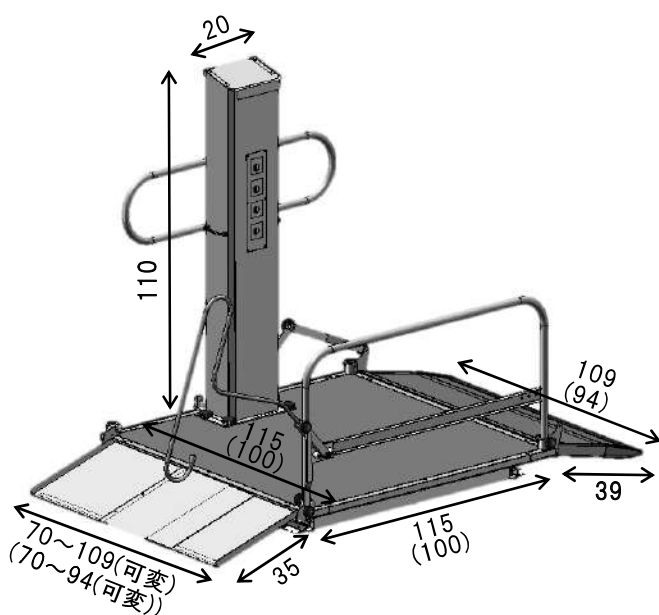
製品の主な特長について

本製品はSK-L型、SK-S型の2タイプあり、両タイプとも車いすでの段差の移動を力強くサポートします。

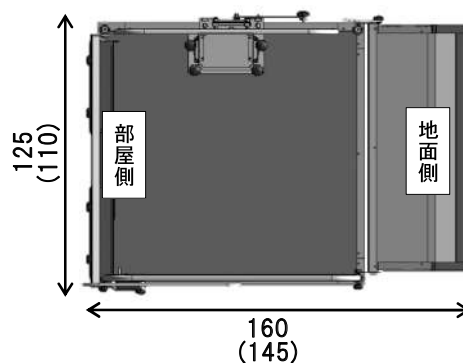
また、フラップの組み換えにより車いすの進行方向を直進型・L字型に変更が可能です。(L字型での乗降はSK-Lのみ対応)さらに、操作ポストでのリフト操作に加え、付属のリモコンでも操作が可能なので、介助者がリフトに乗らず操作をするなど、コードが届く範囲で操作が可能です。

<製品寸法(SK-L)>

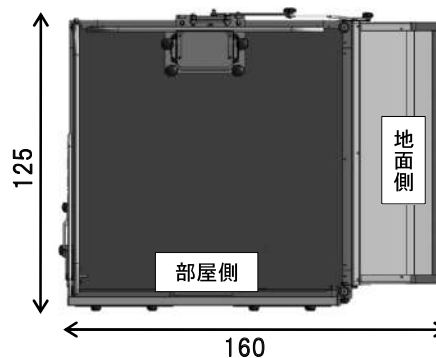
【単位:cm】



<直進方向下降時>



<L字方向下降時> ※SK-Lのみ



※() 寸法はSK-Sの寸法となります。

補足: SK-Lの昇降高さの範囲は9cm~85cm
SK-Sの昇降高さの範囲は8cm~65cmとなります。

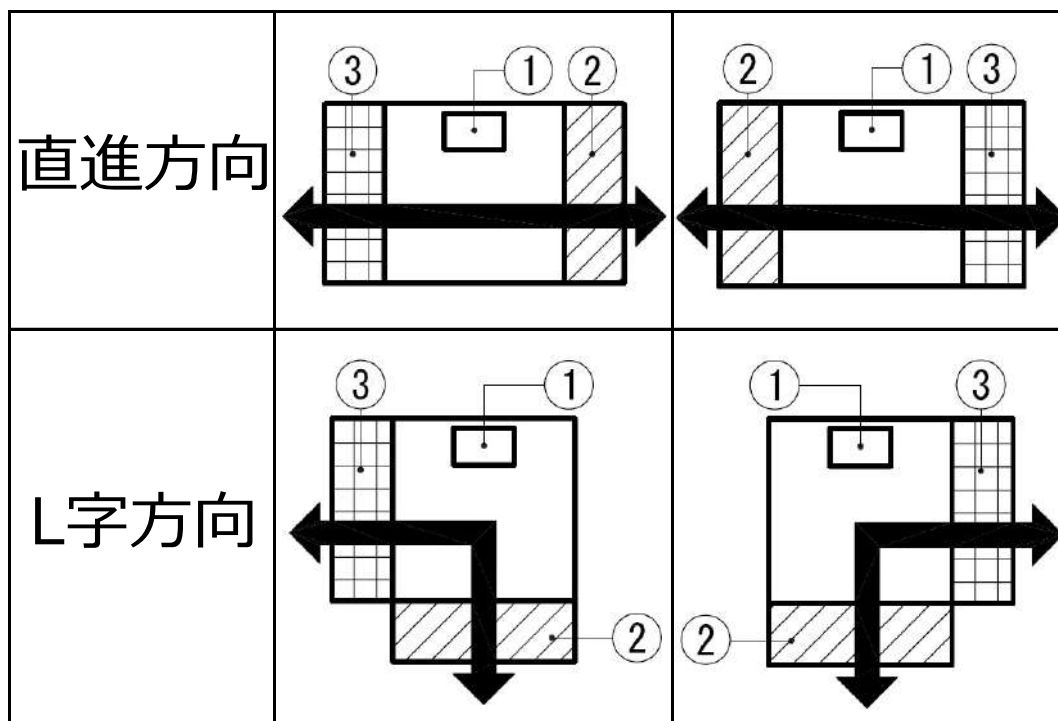
製品仕様

製品仕様

品番コード	SK-S	SK-L
乗り込み方法	直進のみ	直進/L字方向
天板プレート	100cm×100cm	115cm×115cm
フラップの寸法	幅94cm×長さ39cm	幅109cm×長さ39cm
昇降範囲	8cm～65cm	9cm～85cm
昇降時間	50Hz=38秒,60Hz=31秒	50Hz=50秒,60Hz=41秒
フラップの角度	10°	
重量	約88kg	約107kg
耐荷重	180kg	200kg
使用電源	AC100V 50/60Hz ※電源コード 4 m付き	
消費電力	90W	
主要材料	ステンレス・アルミ合金	
T A I Sコード	01235-000146	01235-000147
介助者同乗	不可	可

使用パターンについて

組付けパターンは全部で4タイプあります。ここではその略図を示します。



①：操作ポスト ②：部屋側フラップ ③：地面側フラップ 矢印：車椅子の進行方向

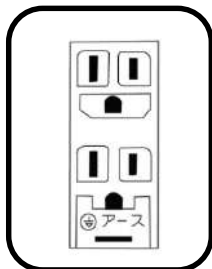
⚠ 注意

- ・SK-Sは直進方向のみ、SK-Lは直進方向とL字方向に出入りが出来ます。
- ・地面側フラップは操作ポスト正面には取り付けることが出来ません。

ご使用になる前に

電源プラグを入れる

電源プラグを家庭用のコンセントに差し込む場合、そのまま差し込んでご使用下さい。
アースターミナル付きコンセントに差し込む場合は、アースターミナルのネジをアースクリップで挟んで下さい。



使用前点検について

ご使用前に、必ず使用前点検を実施して下さい。また、下記の点検項目を全て確認し、使用の妨げになる事項を取り除いた状態で使用して下さい。
また、使用前の点検項目以外にも異常が認められる場合は使用を中止し、ご購入先又は弊社までお問い合わせください。お客様の安全の為、取扱説明書に記載していない内容の対処は絶対に行わないで下さい。

使用前の点検項目

対処方法

製品の周囲やベースフレームのまわりに障害物はありませんか？

昇降の妨げとなる障害物を取り除いて下さい。

部屋側フラップが間口や段差等に適正な距離でかかっていますか？

8頁を参考に適正な距離まで製品を移動させて下さい。

ストッパーは解除されていますか？

9頁を参照し、ストッパーを解除して下さい。

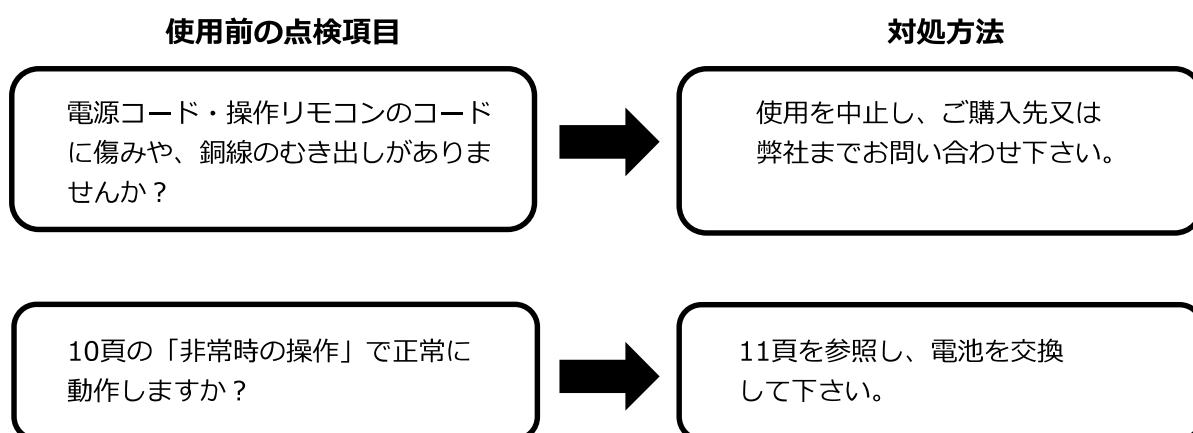
本体の揺れや、ガタつきはないですか？

設定した高さで自動停止しますか？
最低位置で自動的に停止しますか？
昇降時に異音等はありませんか？

16頁のトラブルシューティングを参照し、対処を行ってください。
それでも改善しない場合は、使用を中止し、ご購入先又は、弊社までお問い合わせ下さい。

ご使用になる前に

使用前点検について

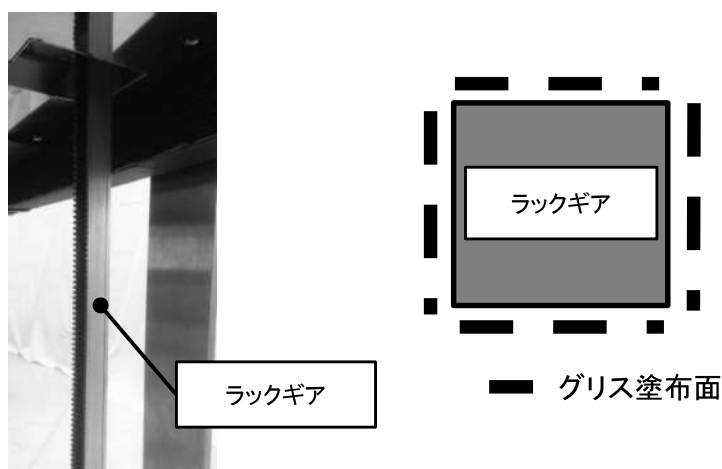


グリスアップについて

製品を安全に未永くご使用していただく為、操作ポストのラックギアに定期的にグリスアップを行って下さい。(3カ月毎程度)

施工方法

- I. ジャバラをたたんだ状態で、天板プレートを最大高さまで上昇させて下さい。
- II. ラックギアの四面にグリスを塗布して下さい。
- III. グリスを馴染ませる為、最小高さ・最大高さへの昇降を2～3回程度行って下さい。
- IV. 使用する高さに上昇高さを設定して下さい。
- V. 異常が無い事を確認し、ジャバラを開封して下さい。



ご使用になる前に

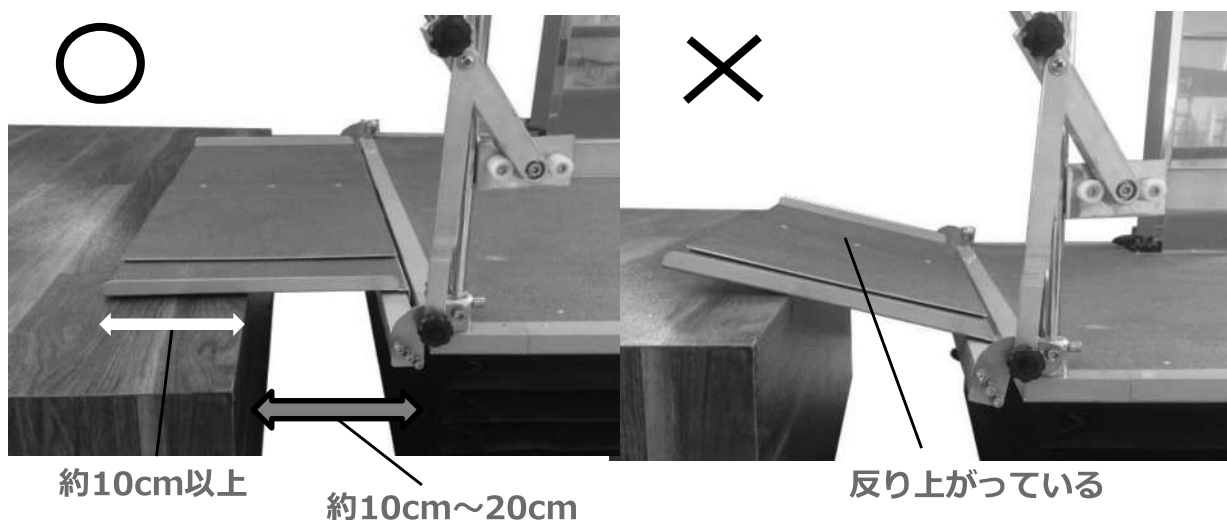
定期点検について

製品を安全にご使用いただく為に、使用前点検と同項目の点検とグリスアップを定期的に行うことをお勧めします。

警告

記載している点検項目以外にも、異常が認められる場合は使用を中止し、ご購入先又は弊社へお問い合わせ下さい。お客様の安全の為、取扱説明書に記載のない内容への対処は絶対に行わないで下さい。

部屋側フラップのかかりしろについて



注意

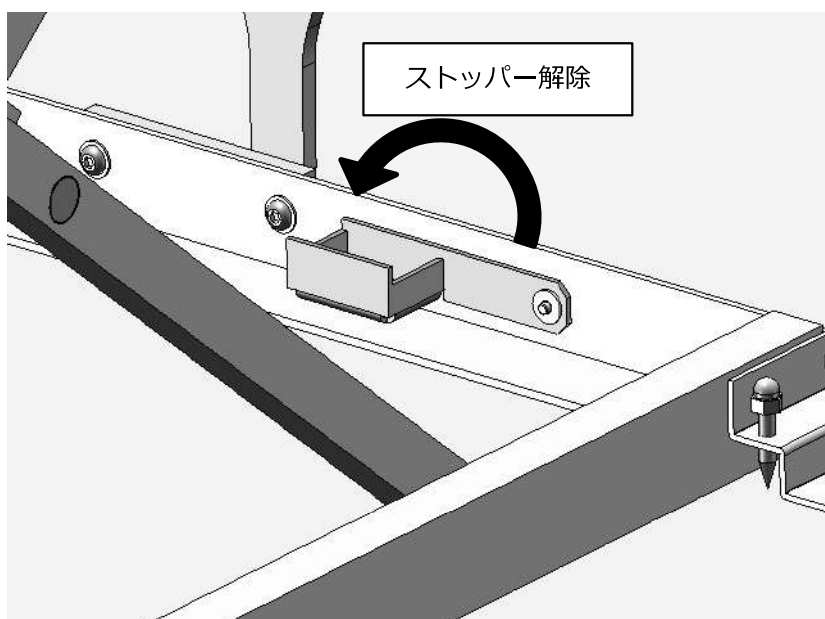
部屋側フラップは間口等に10cm以上かかるように調整して下さい。
10cm未満の接地の場合、フラップがたわみ破損の原因となります。
また、必ず段差等の位置以上までリフトを上昇させてからフラップを降ろして下さい。
降車できないだけでなくフラップの破損の原因となります。
また、組立後の製品の移動を避けるために、ベースフレームの設置の段階で段差等から10cm~20cmほどのスペースを空けておくことをお勧めします。

ご使用になる前に

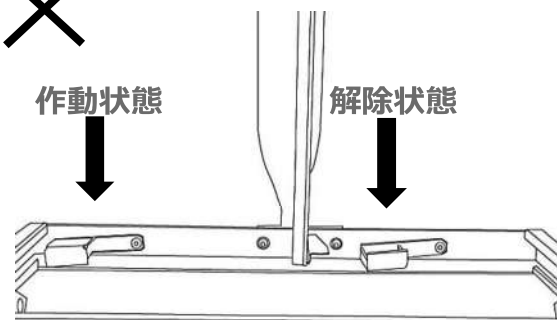
ストッパーの解除操作について

組立が完了後、または製品の使用前は、下図の様にストッパーを2カ所解除していることを、必ず確認して下さい。ジャバラを降ろしている場合はジャバラを持ち上げ、マジックテープで止めた後ストッパーを操作して下さい。

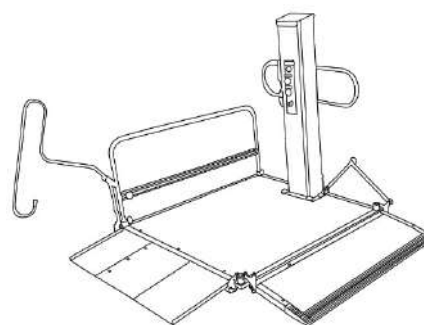
I.ストッパーを動かせる位置まで天板プレートを上昇させ、ストッパーを解除して下さい。



II.危険事項について



III.リフトを最下降位置まで下降させて下さい。



警告

IIのように片側だけストッパーを作動させた状態でリフトを下降させないで下さい。おやめ下さい。両側のストッパーを解除せずにリフトを下降させると天板プレートが正常に下降しません。特に、利用者様がリフトに乗っている状態で下降させると天板が正常に下降しないだけでなく、フレーム等の部材が変形する可能性があります。また、利用者様の転倒につながる恐れがありますので、必ずフレーム両側のストッパーを解除して下さい。また、解除の際はリフトを操作してストッパーを動かせる位置まで上昇させて下さい。操作の際は手などを挟まないように注意して下さい。

操作ポストスイッチ・リモコンの操作方法

電源を入れる

操作ポストに付属のキーを鍵穴に差し込み、右に回すことで電源がONとなります。この時、赤色の電源表示灯が点灯することを確認して下さい。

・操作ポストのボタンで上昇するとき

緑色の上昇ボタンを押します。
この時、ボタンを押している間だけリフトが上昇します。
また、最上昇位置に達すると自動的にリフトは停止します。

・操作ポストのボタンで下降するとき

黄色の下降ボタンを押します。
この時、ボタンを押している間だけリフトが下降します。
また、最下降位置に達すると自動的にリフトは停止します。

・リモコンを使って上昇するとき

上側の上昇ボタンを押します。
この時、ボタンを押している間だけリフトが上昇します。
また、最上昇位置に達すると自動的にリフトは停止します。

・リモコンを使って下降するとき

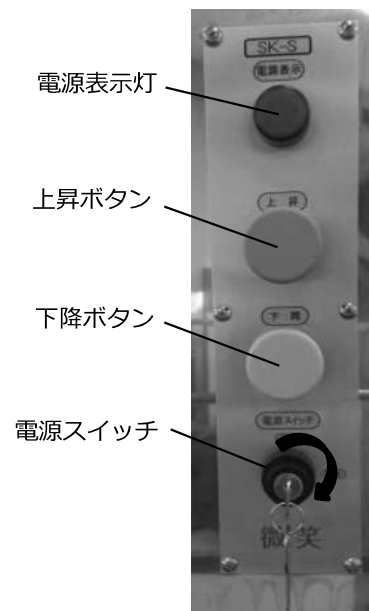
下側の下降ボタンを押します。
この時、ボタンを押している間だけリフトが下降します。
また、最下降位置に達すると自動的にリフトは停止します。

非常時の操作

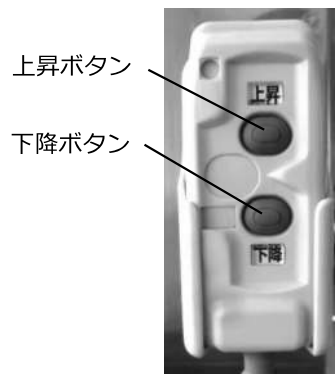
停電などの非常時でもキースイッチがONの位置にあり操作ポストスイッチ又はリモコンでリフトの下降が可能です。下降ボタンを押してリフトを下降させて下さい。
※非常時の操作は内蔵電池で行います。

電池の交換方法は11頁を参照して下さい。

操作ポストスイッチ



リモコン



⚠ 注意

注1: お子様のいたずらや誤動作等を防止する為に使用时以外は電源をOFFにしてキーを抜いておいてください。また、キーを操作するときは確実に差し込んだ状態で回し、抜くときは確実にOFFの位置に回してから抜いて下さい。

注2: 操作ボタンは無理な力で押さないで下さい。また、ボタンを引っ張らないで下さい。

注3: リモコンでリフトを操作するときは、リフトの部材の隙間や、車いすの車輪等の間にコードが絡まっていないことを確認の上使用して下さい。破損や、利用者様のけが等につながる恐れがあります。また、リモコンのコードは無理な折り曲げや引っ張り、挟み込みをしないで下さい。コードを伸ばして使用する場合、リモコンの根元の極端な折り曲げはしないで下さい。リモコンの接触不良につながる恐れがあります。

電池交換のしかた



警告

以下のことを守ってください。

感電、やけどなどのけがの原因や本体の破損、故障の原因となります。

- ・濡れた手で電池の取り扱いをしないでください。
- ・電池の⊕⊖極を確かめ、正しく入れてください。
- ・使用する電池は、積層形(006P型9V)マンガン乾電池を8本(別売)となります。
- ・新しい乾電池と古い乾電池または異なった種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池に表示してある注意内容を必ず守ってください。
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用してください。

電池は経年劣化などにより自然放電し、電圧が減少します。
定期的に点検を行い電池を交換してください。

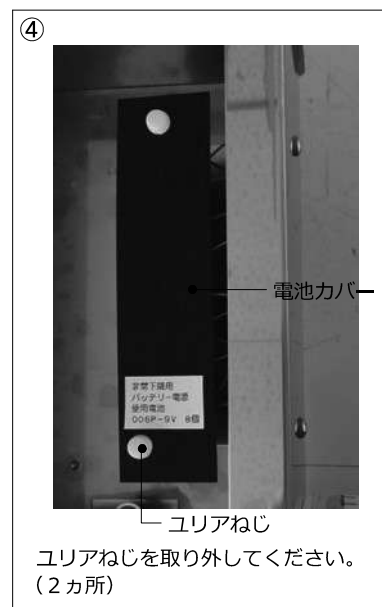
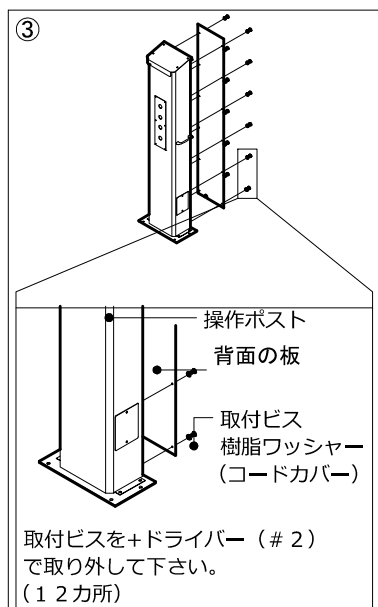
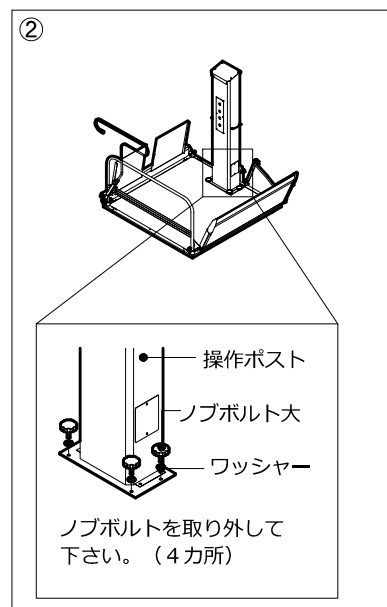
①昇降機を一番下まで下降させてから100Vの電源コンセントの電源プラグを抜いてください。

昇降機が操作スイッチ、リモコンの操作で動かないこと確認してください。

②操作ポストを取り外してください。

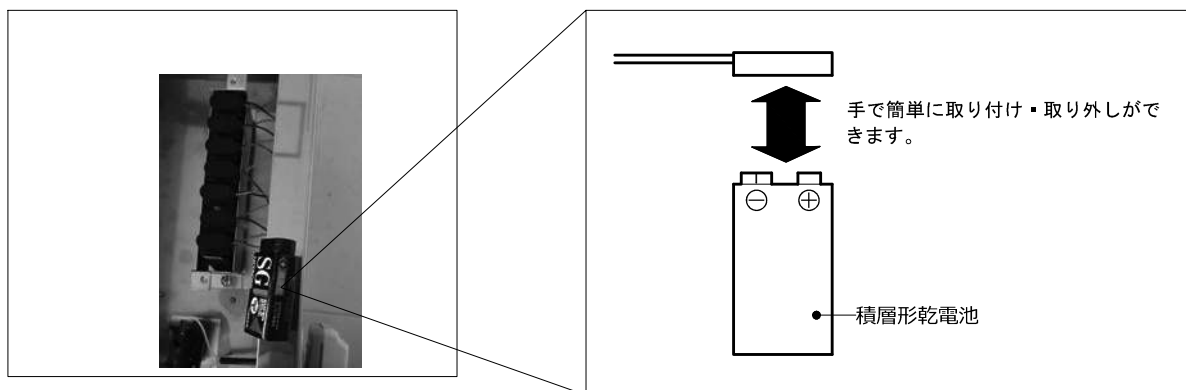
③操作ポストの背面の板を取り外してください。

④操作ポスト内にある電池カバーを取り外してください。



※電池カバーは背面の板を取り外すと右側上部にあります。

⑤古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けてください。(8カ所)

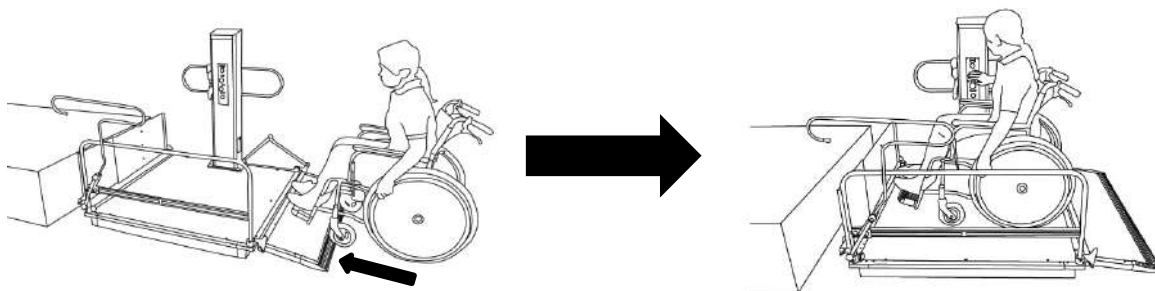


⑥「④」「③」「②」の逆手順で操作ポストを元の通りに組み立ててください。

使用方法

リフトに乗るとき（直進方向）

- I.昇降機が最低高さになっていれば地面側フラップは地面に接地しています。
- II.天板プレートの中央まで車いすを移動し、動かないように車いすのブレーキをかけます。
- III.操作ポストもしくはリモコンの上昇ボタンを押して下さい。

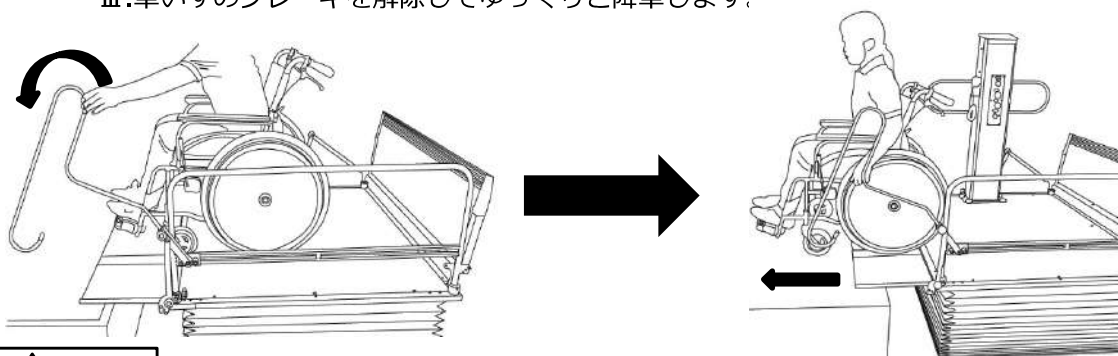


⚠ 注意

車いすの全ての車輪が地面側フラップの上を通過するように注意してゆっくりと乗り込んでください。そして、昇降前に車いすのブレーキを必ずかけて下さい。車いすが昇降中に動く可能性があり危険です。また、上昇中は自動的に地面側フラップがリフト側に起き上がります。

リフトから降りるとき（直進方向）

- I.天板プレートが設定した高さまで上昇すると自動的に停止します。
- II.フラップハンドルを操作して部屋側フラップをゆっくりと降ろします。
- III.車いすのブレーキを解除してゆっくりと降車します。



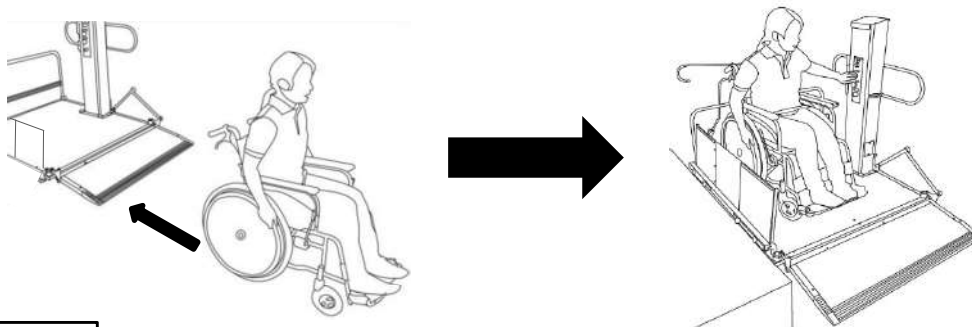
⚠ 警告

地面側・部屋側フラップに車いすや人が乗った状態で昇降させないで下さい。転倒や本製品の破損につながり、利用者様のけがにつながる恐れがあります。また、フラップハンドルを操作する際は、部屋側フラップと天板プレートの上に手足を挟まないように十分ご注意ください。けがの原因となります。

使用方法

リフトに乗るとき（L字方向）

- I.昇降機が最低高さになっていれば地面側フラップは地面に接地しています。
- II.天板プレートの中央まで車いすを移動し、動かないようにブレーキをかけます。
- III.操作ポストもしくはリモコンの上昇ボタンを押して下さい。

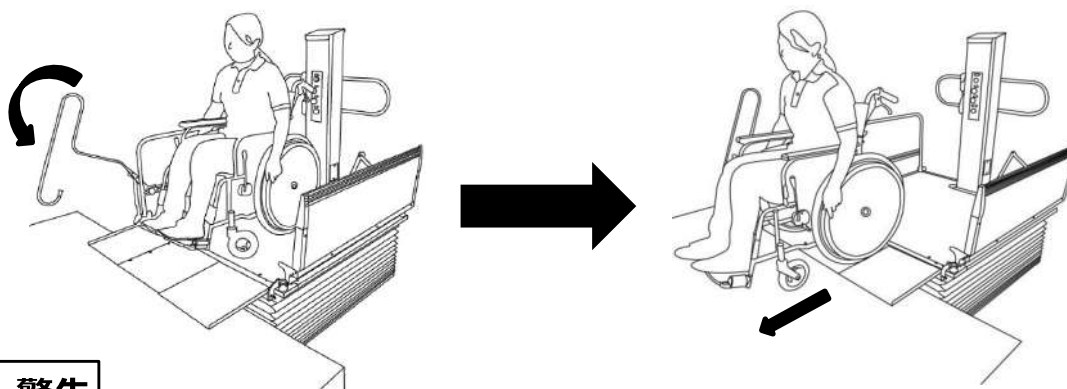


⚠ 注意

車いすの全ての車輪が地面側フラップの上を通過するように注意してゆっくりと乗り込んでください。そして、昇降中は車いすのブレーキを必ずかけて下さい。車いすが昇降中に動く可能性があり危険です。また、上昇中は自動的に地面側フラップがリフト側に起き上がります。

リフトから降りるとき（L字方向）

- I.昇降機が設定した高さまで上昇すると自動的に停止します。
- II.方向転換し、フラップハンドルを操作して部屋側フラップをゆっくりと倒します。
- III.ゆっくりとリフトから降車してください。



⚠ 警告

地面側フラップに車いすや人が乗った状態で上昇させないで下さい。転倒や本製品の破損につながり、利用者様のけがにつながる恐れがあります。また、フラップハンドルを操作する際は、部屋側フラップと天板プレート間に手足を挟まないように十分ご注意ください。けがの原因となります。

使用方法

下降するとき

- I. 部屋側フラップが立っているときは、フラップハンドルを操作して段差や間口等にかけます。
- II. 天板プレートの中央まで乗り込み、車いすのブレーキをかけます。

警告

車いすの全ての車輪が部屋側フラップの上を通過するように注意して乗り込んで下さい。
また、昇降前には必ず車いすのブレーキをかけて下さい。車いすが昇降中に動く可能性があり危険です。

- III. フラップハンドルを操作し、部屋側フラップをリフト側に起こします。
- IV. キーをONにして操作ポスト又はリモコンの下降ボタンを押します。
注: 昇降機が最下降位置に来ると自動的に停止します。
- V. キーをOFFの位置に回して電源を切ります。

注意

天板プレートが最下降位置に近づくにつれて、徐々に地面側フラップが外側に開きます。
リフトが完全に停止するまで、車いすのブレーキをかけておいて下さい。
また、下降する前に部屋側フラップは必ずリフト側に起こして下さい。間口等に傷をつける原因となります。

- VI. 車いすのブレーキを解除してリフトから降りて下さい。

操作時のご注意

- I. リフトの動作中に異常な音や機械の作動音に異常を感じた場合は、即座に操作ボタンから手を離して、リフトを停止させて下さい。
- II. 操作ポストの点検窓は通常は開けないで下さい。リフトの上昇位置を決定するときのみ開けて下さい。
- III. 長時間ご使用にならないときは電源コンセントから電源プラグを抜いておいて下さい。
- IV. リフトは車いすの移動以外にはご使用にならないで下さい。
- V. 車いすは必ずブレーキをかけてからリフトを運転して下さい。
- VI. 車いすは出来るだけ天板プレートの中央で停止させて下さい。
- VII. 大雨等で製品の設置場所に水が溜まる恐れのある場合には、リフトを上昇させた状態で停止させておいて下さい。
- VIII. 作動中はフラップに乗らないで下さい。フラップアームが破損し、乗降ができなくなります。

トラブルシューティング

下記以外のトラブル・原因の場合、また、下記の対処方法で解決されない場合はご購入先又は、弊社までご連絡下さい。トラブルが解決するまでは絶対に使用しないで下さい。

トラブルの内容	主な原因	対処方法
リフトが昇降しない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
	電源スイッチがONでない。	電源スイッチをONに回して下さい。
	最上昇または最下降位置に到達している。	逆方向にリフトを動かして下さい。
設定した高さで自動的に止まらない	高さ設定が不適當	点検窓より、高さ設定を行って下さい。
本体がガタつく	製品の設置場所が不安定 アジャスターの調整不足	使用を中止し、 ご購入先又は弊社まで ご連絡下さい。
最下降位置で自動的に止まらない	電氣的な不具合の可能性 本体内部品の摩耗、破損	
製品から異音がする	本体内部品の摩耗、破損 駆動部へ異物の噛み込み	
部屋側フラップが間口や、段差等に届かない	製品の設置位置が不適當	
非常時の操作でリフトが下降しない	電池切れのため作動しない	電池を交換して下さい。

日常のお手入れ

お手入れ方法

I. 日常のお手入れについて

本製品が汚れた時には、水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れている箇所を拭きとって下さい。

II. 点検

6・7・8頁を参考に定期的に点検を行い、ガタつき、ねじの緩み、破損、その他異常がないか確認して下さい。

III. 保管方法

直射日光や雨などでの劣化を防ぐ為、使用しないときはシートなどを被せて保管して下さい。



警告

お手入れをするときは、万が一の感電を防ぐために電源プラグを抜いて下さい。

濡れた手で、電源プラグを抜かないで下さい。

お手入れの際は、本製品を劣化させてしまう恐れのあるもの(※)を使用しないで下さい。

※ 下記のものはお手入れに使用しないでください。

- ・酸性洗剤、塩素系洗剤、アルカリ性洗剤
- ・シンナー、油類などの有機溶剤
- ・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ・研磨剤入りのスポンジ、たわし、ブラシ
- ・高圧洗浄機

メモ

保証書

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
お客様が取扱説明書等の注意書きに従った使用状態で、保証期間内に破損や故障をした場合に本保証書記載内容により無償修理いたします。

- 下記に該当する場合は、保証期間内でも有償修理となります。
 - 使用上の誤りや不注意、改造、修理などによる故障又は損傷。
(本来の用途以外で使用した場合、耐質量を超えた仕様や設置ミス等の誤使用)
 - 弊社が示す説明書に基づいた組み立て、施工、維持管理を行わなかった場合の故障または損傷。
 - 時間の経過や部品の消耗などによる不具合。
 - 火災、地震、落雷、風水害、塩害、ガス害、異常電圧など天災地変による故障または損傷。
 - お買い上げ後の移動や落下による故障または損傷。
 - その他、製造者の責任でない原因や製造者以外の故意・過失によると判断される故障または損傷。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

<個人情報の取扱いについて>

- 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動やこの後の安全点検活動のために利用いたします。
本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

お買い上げ日	年 月 日	お客様
保証期間	1年間	ご住所 〒
品名		
販売店		ご芳名 TEL

上表に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認下さい。もし記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理・お取扱いなどのご相談は、まずお買い上げの販売店にお申し付けください。

※商品の改良のため、仕様や外観、価格は予告なく変更する場合があります。

010-5002C



株式会社 **シコク**

本 社 工 場 〒769-2402 香川県さぬき市津田町鶴羽1118-15
TEL (0879)42-1111 (代) FAX(0879)42-1112

<https://www.sk-shikoku.co.jp>